

じんけんきょういく  
「人権教育コラム」No.7  
しゅうだんいくせい みと あ たか あ  
～集団育成 なかまと認め合い、高め合い～

じんけんきょういくぶ どうわきょういくしゅたん  
人権教育部 同和教育主担

たにやま かつひこ 勝彦  
谷山 勝彦

わたし りょうて  
私が両手をひろげても  
そら と  
お空はちっとも飛べないが  
と ことり わたし  
飛べる小鳥は私のように  
じめん はや はし  
地面を速く走れない

わたし  
私がからだをゆすっても  
おと で  
きれいな音は出ないけど  
な すぐ わたし  
あの鳴る鈴は私のように  
うた し  
たくさんの中は知らないよ

すず ことり わたし  
鈴と、小鳥と、それから私  
みんなちがって、みんないい

かねこ 金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」です。この詩を読むといつも考えることがあります。  
まわ みわた 周りを見渡すと、誰一人「まったく同じ人」はいません。好きな食べ物がちがう、趣味がちがう、  
どくい 得意なことや苦手なことがちがう・・・。  
ひと 人はつい、自分とちがうところを見つけると、比べてしまいます。しかし、ちがいを知ることが、  
あいて たちはば た だいいっぽ にがて 相手の立場に立つ第一歩です。苦手なことがあれば、得意な誰かが補う。そして、また別の苦手な  
はめん 場面があれば、ちがう誰かが補う。こんなことが日々くり返されると、人はお互いを尊重できる  
のではないでしょうか。

しょうがっこ ちい しゃかい がっこう がくねん さまざま たちは こ とも  
小学校は小さな社会です。学級・学年には様々な立場の子どもがいます。友だちとのちがいや  
もし みと あ もちあじを知り、認め合うことができるよう、塩草立葉小学校では、「集団育成」を人権教育の  
はしら ひと ふだん じゅぎょう きゅうしょく やす じかん ばめん とも こうりゅう  
柱の一つにしています。普段の授業や給食、そうじ、休み時間などの場面で、友だちと交流・  
きょうりょく はめん いととき だ 協力できる場面を意図的に作り出しています。また、児童集会では「たてわり活動」を行つ  
ています。学年を超えたつながりをつくることで、下の学年の子どもには「あこがれの心」を、上  
がくねん こ の学年の子どもには「いつくしみの心」を育てています。

まち で さまざま たちは かた おな しゃかい く 街に出ると、様々な立場の方が同じ社会で暮らしています。グローバル化がさらに進む時代だからこそ、他者に寛容な社会でありたい。そしてその担い手として塩草立葉小学校の子ども達が育つ  
よ う、取り組んでまいります。

こんご じんけんきょういく と <  
【今後の人権教育の取り組み】

- くるま たいけん (4年 1月28日 (火))  
・車いす体験 (4年 1月28日 (火))
- なんばしえんがっこうさくひんてんけんがく ねん がつ にち か  
・難波支援学校作品展見学 (2年 2月13日 (木)、4年 2月14日 (金))
- たいけん ねん がつ にち か  
・アイマスク体験 (5年 2月18日 (火))